

南あわじ市前期基本計画総括（概要） ～内部評価、市民意識調査結果より～

【総括の目的】

○「第2次南あわじ市総合計画 前期基本計画」の計画期間が令和3年で終了することから、「後期基本計画」策定の基礎資料とするため、これまでの取り組みの総括を行いました。

【第2次南あわじ市総合計画の体系】

○第2次南あわじ市総合計画の体系は以下の通りとなります。



【評価方法】

<内部評価>

○基本施策ごとに担当課が目標達成状況を以下の4つの区分で自己評価

評価区分	点数
目標達成に向け順調である	4
やや遅れているが、概ね順調	3
遅れが生じており、さらなる取り組みが必要	2
このままでは目標達成が難しい	1

<市民意識調査>

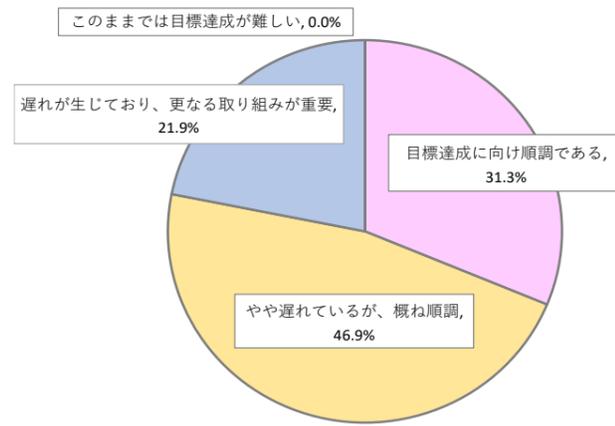
○まちづくりの目標ごとの満足度を次の通り得点化

『満足』×5+『やや満足』×4+『どちらともいえない』×3+『やや不十分』×2+『不十分』×1(わからない、無回答は除く)

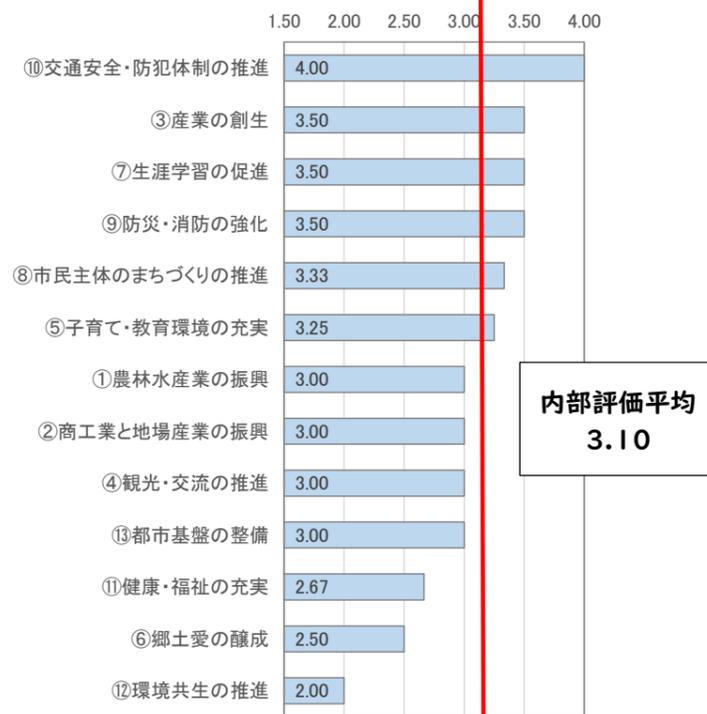
【内部評価】

<全体の進捗度>

○基本施策ごとに評価した計画全体の進捗度は、「やや遅れているが、概ね順調」が最も多く、32項目中約半数となる15項目(46.9%)となっています。次に「目標達成に向け順調である」が10項目(31.3%)、「遅れが生じており、更なる取り組みが重要」が7項目(21.9%)となっています。「このままでは目標達成が難しい」と評価した施策はありませんでした。



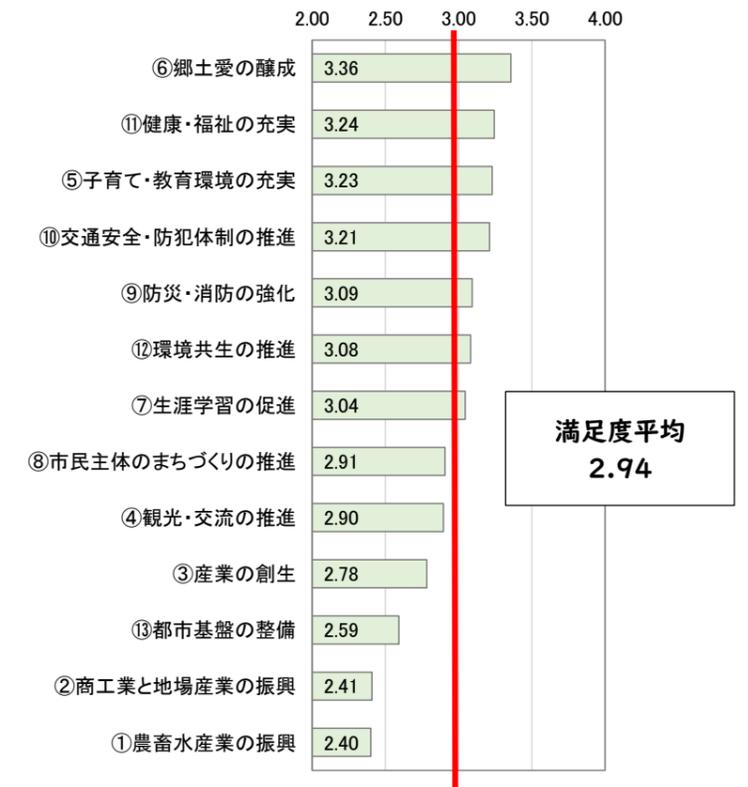
○32項目の基本施策の評価結果を、13項目のまちづくりの目標ごとに整理し、順位付けを行ったものが以下となります。内部評価全体の平均は「3.10」となり、最も評価が高かったのは「⑩ 市民の安心・安全を守るまちづくり」で評価は「4.00」、一方、最も評価が低かったのは「⑫南あわじを形づくる山・川・海を大切にすまちづくり」で評価は「2.00」となっています。



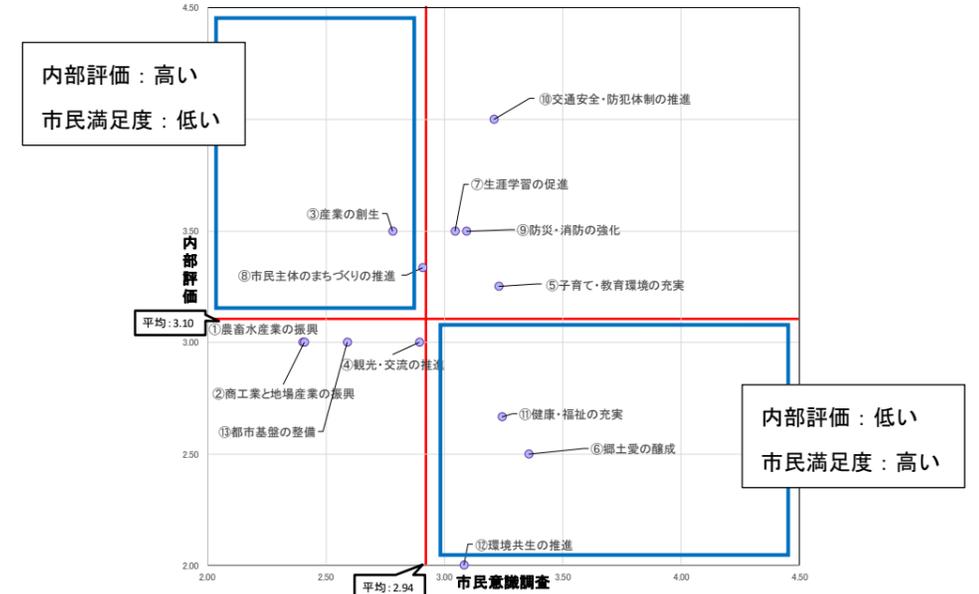
【市民意識調査（満足度）】

○13項目のまちづくりの目標ごとの満足度を得点化し、順位付けを行ったものが以下となります。満足度全体の平均は「2.94」となり、最も満足度が高かったのは「⑥ 郷土愛の醸成」で「3.36」、一方、最も低かったのは「①農畜水産業の振興」で「2.40」となっています。

○まちづくりの柱Ⅰ「活気ある仕事づくり」に関連する4つのまちづくり目標の満足度が、すべて平均以下となっています。



【内部評価と市民意識調査（満足度）のポートフォリオ分析】



【内部評価と市民満足度との乖離項目】

<内部評価が低く 市民満足度が高い項目>

⑥郷土愛の醸成

新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度は子ども芸能発表会が実施できなかったことなどにより、内部評価は低い結果となっています。市民満足度が高いということを踏まえて、引き続き伝統文化の披露及び子どもたちが伝統文化に触れ合う機会を創出し、郷土愛の醸成を図ってまいります。

⑩健康・福祉の充実

町ぐるみ健診など市民全体の健康福祉の充実については、内部評価も順調であり、こうしたことを踏まえて、市民満足度も高いものとなっていると考えます。一方で、特定の分野（老人福祉センター等利用、特例子会社設置、生活保護世帯の就労等）において、達成できなかったことにより、内部評価が低くなり、全体的には内部評価と市民満足度との乖離が生じたものと考えます。

⑫環境共生の推進

全島一斉清掃においては、ほぼすべての自治会が参加するなど、市の取り組みが市民満足度に繋がっているものと考えます。一方で、可燃物の可燃数量や資源ごみのリサイクル率など、目標に達しなかった項目が複数あり、内部評価は低い結果となっています。今後、市として重点的に取り組む必要があります。

<内部評価が高く 市民満足度が低い項目>

③産業の創生

吉備国際大学では、農畜水産物の高付加価値（ブランド）化のため、6次産業化に向けたさまざまな取り組み（淡路島なるとオレンジ、ジビエ商品等の開発）を実施しており、市において一定の成果が上がっているものと考えています。しかしながら、その内容を市民へ伝えることが十分でないと考えますので、今後は、より一層地域との交流を図るとともに、情報発信に努めてまいります。また、雇用のさらなる創出・促進として、企業誘致や起業家の育成等を推進し、コロナ禍における「働き方改革」の変容によるテレワークなど、雇用におけるさまざまなニーズに対応してまいります。

⑧市民全体のまちづくりの推進

地域と学校が連携した取組みについては推進できていると認識しています。各市民交流センターや地域づくり協議会、自治会等で取り組む活動などにおいては、市民全員で取り組むことまでは至っていないと理解しているところです。今後は、事業実施と地域の実情に応じたきっかけづくり、場づくりとなるよう、市民・行政・地域が連携し、地域コミュニティづくりをより一層推進します。

【総括まとめ】

★今回の前期基本計画総括において、内部評価と市民満足度が乖離している項目については、KPIが的確に設定できていないことによって、乖離が生じていると考えられ、概ね同様の評価（市民・行政とも同じ方向性の評価）であったのではないかと考えます。

★市民満足度が低いとされている6項目（①農畜水産業の振興 ②商工業と地場産業の振興 ③産業の創生 ④観光・交流の推進 ⑤市民全体のまちづくりの推進 ⑥都市基盤の整備）については、後期基本計画において、施策内容の等の充実を含めしっかり対応できる計画とする必要があります。併せて、KPIについても適切な指標等の設定を行っていく必要があります。